

研究課題名	入院契機が肺炎の症例と入院後に肺炎を併発した症例の発症要因の分析と入院費用の調査
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 特殊歯科・口腔外科 氏名 道脇幸博
研究期間	平成 25年 11月 ～ 平成26年 10月
研究の意義・目的	<p>高齢者の肺炎罹患患者数が増加しています。高齢者の肺炎では、70%以上が誤嚥性肺炎と言われており、当院でも入院後に肺炎を併発する高齢者がいます。入院後に肺炎を併発すると、原疾患の治療を困難にし入院期間も延長します。</p> <p>本年度から栄養サポートチーム（NST）の下部組織として口腔ケア・嚥下チームが結成されました。活動目的は、口腔ケアと摂食機能療法を全病院に広げ、質を向上させることです。質向上の評価法の一つは窒息や誤嚥性肺炎の予防と低減です。口腔ケア・嚥下チームの本格稼働前のベースライン調査として、当院の現状把握が必要です。</p> <p>本研究の目的は、入院契機が肺炎症例と入院後肺炎併発症例の両者について、発症要因の分析と費用調査を通して、当院の現状分析と口腔ケア・嚥下チームの活動の指標とすることです。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>研究資料は、平成22年～24年の3年間に当院に入院した患者のうち、入院契機が肺炎であった症例と入院後に肺炎を併発した症例です。後方視的な調査です。入院契機が肺炎であった症例とその対照症例、また入院後に肺炎を併発した症例とその対照症例を対象とするため、当院入院患者全症例とする。約18,000例/年となります。診療記録とDPCからデータの抽出と解析を行います。抽出項目は、性別、年齢、診療科名、入院日、退院日、在院日数、主病名、入院の契機となった病名、併存病名、入院後発疾患名、入院費用とその内訳、転帰などです。</p>
個人情報の取扱い	<p>結果の処理は、パスワードでアクセスが管理されたコンピュータで行い、データの流出には十分注意します。研究結果は学会等で公表しますが、公表されるのは個人データではなく、集団として統計処理された値です。そのため個人が特定される危険は予測できず、また個人を特定できる情報を公表することはありません。</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 特殊歯科・口腔外科 氏名 道脇幸博</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6813 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>